

奈弓連だより

通巻 264 号

令和 6 年 2 月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

第 1 回奈良県武道祭(奈良県武道合同演武大会) 加盟 10 団体が一同に集まり再出発

《体制の再興》

去る 2 月 3 日 (土) 12 時から、橿原市中央体育館において、標記大会を開催しました。奈良県武道協議会は、当時の鍵田忠兵衛会長がなくなったあと、平成 22 年の活動を最後に休止状態が続いていましたが、奈良県が 2031 年の国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会に向けて、橿原公苑を「武道の聖地」と位置付けたことから、同協議会の活動を再開すべく、当時事務局長をしていた新司顧問に新体制の理事長として先頭に立っていただく体制を整えました。

《演武会の開催》

当時も合同演武会を開催する話はありませんでしたが、活動が休止状態になったことで停滞し、この度第 1 回の開催となった次第です。現在加盟は現在 10 団体で、演武会にはすべての団体が参加し、奈良県議会・岩田議長、橿原市・亀田市長をはじめ、多くのご来賓のなかで演武をすることができました。奈良県弓道連盟としましては、第 1 回ということで場を清め祓う意味を持つ「墓目の儀」を新司理事長に演じていただきました。その後、西中会長、藤岡副会長と私の三名で、立射礼を行いました。



「墓目の儀」



想いを新たに 立射礼

《再興式典および懇親会》

夕方には、橿原オークホテルで山下知事にも来てい



山下知事、新司理事長と

ただき、盛大に再出発を祝い、知事からは武道場、弓道場を整備する旨の発言もあり、武道家との交流を深めた次第です。

(県弓連理事長 阪中 計夫)

橿原神宮建国記念奉祝行事

魔を祓い場を清め、鬼を退治 想いをこめて伝統を繋ぐ

1 月 28 日 (日)、小笠原ご宗家をお迎えし、橿原神宮前庭において墓目の儀・百々手式の奉納は、天候にも恵まれ多くの参拝者が見守るなか無事執行することができました。

連盟会員と近畿地域の小笠原門人と総勢 47 名でのご奉仕となりました。最初に行われる「墓目の儀」は、鏑矢で魔を祓いその場を清める儀式です。墓目射手：新司正人、手明介添：塩谷行庸、替弓持：井上誠リード、太刀持：乾光孝、的立：武藤都代美、矢拾：小川たまきの皆様により執行されました。続いて前弓射手 7 名、中弓射手 8 名、後弓射手 7 名で「百々手式」による奉射を行い、各組の射手から五月雨式に矢が放たれ、弦音・的音が次々と響きました。これによりの裏に潜む「鬼」を退治すると言われていています。この行事は、昭和 42 年に建国記念日が制定されたのを機に執行されており、本来は、2 月 11 日に奉納されるものですが、広い場所が必要なこと、参拝者が多く危険があることから、一足早く執行されております。執行後、今年の龍の絵馬の前で記念撮影、神宮会館において宮司さんも交え和気あいあいと直会がおこなわれました。当初から、近畿の大阪、京都、兵庫をはじめ三重、愛知、岐阜、徳島の門人も参加する行事として現在に至っています。奈良県弓道連盟としても、この伝統行事を引き継いでいくために、門人以外の多くの人たち



にもお手伝いをいただいております。これからも連盟会員の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。(深田 紀美子)

新しい試み 年齢別講習会 40～60歳の部 中堅層会員としての熟度の向上を目指して

1月14日(日)令和5年度第2回県連講習会(40～60歳)が榎原公苑弓道場で開催されました。

講師：須田三郎 教士八段、西浦範光 教士七段

受講生：18名

講習会の目的は①県連中堅層会員としての熟度向上 ②正しさを求める ③弓道教本に沿った射技 ④体配の習得・指導者としての必要な理論習得、前回指摘を受けたことの疑問点を整理した上での受講となりました。午前中は一手行射のち講評・講話、射技指導をいただき、昨年の錬士合格者より受審体験談を聞かせていただきました。

西浦先生から、全体的には入場等は前回よりも良くなっているものの、射品に拘わる点として矢番え動作において弦の位置がずれている、向きを変えた後(的正面を向いた時)の矢羽根が開いている、弓構えで矢が上を向いている人がいるなどの講評があり、取矢をする時に矢が動かないようにする、弓の本弭が膝頭にあるか、真直ぐ打起しができるように弓を正しい位置に置くことの重要性など、射品についての説明を受けました。須田先生からは、今回の講習会においては「呼吸と残心に気をつけること」の課題をいただき、動作には長い動作と短い動作があり、それぞれの動作に合わせた呼吸を使うことが大切だとの教えを受けました。また、弓道誌は写真を参考にするなど、身近な参考書として勉強の材料とすることや、細かい所を注意し、丁寧な練習をしていくことの重要性を教わりました。その後、須田先生と西浦先生に一手ずつ各自の問題点を丁寧に指導いただき、他の受講生も先生方の指導内容を真剣に耳を傾けていました。

八木受講生からは審査会場での的間隔の違いや、前の

人が立射の場合に動揺しないように日頃から練習が必要であること、待ち時間や立順、二次審査が夜間となる場合があること、立札が一番のみであること、集中などの注意点と、合格を目標にするのではなく、審査は通過点であり、その後について考えることの重要性を話して下さいました。鷲尾受講生からは人の動作に動じない心を持つこと、常に気を抜かず、諦めず、審査の為に来て頂いた先生方に失礼のないように審査に臨んだ体験談を伺いました。午後からは参段は審査の間合いでの行射、四段以上は持的射礼を行い、5人で合わせることの難しさと呼びの重要性を痛感しつつも、錬士以上の立ちの、呼吸が合った射礼の美しさを目の当たりにしました。

自分自身の課題は山積していますが、今後は先生方の教えの通り、教本に立ち返り一つ一つ丁寧に課題を克服していきたいと思っております。

講師の先生方、寒い中一日ご指導頂きありがとうございます。(奈良支部 丹波 隆代)

新しい試み 年齢別講習会 50歳以下の部(2日目) 気合の乗った体配と強く鋭い離れを出す

標題の講習会が1月28日(日)ロート奈良弓道場にて行われました。

講師：藤岡 順 教士七段、吉本 清巳 教士七段

参加者：17名(欠席1名)

今回は講習会の目的である「良い射を知り、良い射を見て、気合の乗った体配と強く鋭い離れを出すことを意識した研修」のうち「気合の乗った体配」をテーマとして体配中心の研修でした。内容は、一手行射、講評、基本体・基本動作の練習、行射研修、射技研修、仕上げ行射で行われました。一手行射の講評の中では、歩く速度について「息合いに合わせてだが、前後の人が合わせやすい速度・見ている人が違和感のない速度で」等のご指摘があり、見ている人を含めた”全体の調和”の意識の必要性を感じました。続く基本体・基本動作についての講話では、吉本清信先生などのお話も交えながら「いかに隙のない動作をするか・射に集中できるよう体配を気にしなくても良いぐらい修練しないといけない・介添に安心感があれば射手は射に集中できる・基本動作の注意点8項目が大事・細かい部分までしっかり意識することが大事」等のお話がありました。その後の体配の実技練習では細かな部分までご

指導いただき、普段どれだけ細部を意識できていないか、細部まで意識していると射に集中できないことを実感しました。普段の稽古は射技中心となってしまうので集中して体配を見直せる良い機会となりました。2回の講習会を通してご指導いただいたことを、普段の稽古の中で活かして次のステップに向けて精進したいと思います。最後になりましたが、2回に渡ってご指導いただきました講師の先生方ありがとうございました。
(郡山支部 高橋 悟史)

第26回 奈良県弓道団体選手権大会 兼 全日本勤労者選手権大会県予選会

参加チームの制限をなくし、145名 50チームが参加

2月11日(日)に橿原公苑弓道場において、団体選手権が実施されました。

コロナ禍では支部単位で参加チームの制限を行っていましたが、今回は一般については参加チーム数の制限の無い、従来の形で実施しました。このため、50チーム145人の参加による久しぶりの大人数の大会となりました。大会結果及び選考結果は以下の通りです。

【大会結果】

- 1位 生駒B (瀬戸 雅弘、山口 亮二、田中 智)
- 2位 五條高校 (竹村 響、伊藤 響、達 大輔)
- 3位 生駒A (加藤 歩美、岩井 詩月、東郷 仁美)
- 3位 五條B (新子 修平、今西 達也、鳶岡 義人)

【選考結果】

シャープA (藤本 聡郎、太田 和宏、遊田 博之)
教職員 (奥田 章人、勝山 彩美、中西 省五)
(競技部 衛藤 博史)

奈良市弓道協会 記録会

看的や記録などの役割と、選手としての動きを学ぶ

1月21日(日) ロート奈良弓道場において開催。

参加者：33名

奈良市弓道協会では、矢数稽古、また看的や記録といった役割を学ぶ機会として競技会形式の記録会を行いました。これは令和5年度から年2回の計画で行われ、今回は2回目になります。四ツ矢に慣れていない参加者は指導を受けながら高段者と一緒に行射に臨み、最初は戸惑いながらも立を重ねるごとに流れがスムーズになりました。そして全員が座射で八射、立射で十二射の合計二十射を引き終え、最後は的中上位者

に拍手を送って閉会しました。高段者が所作など個別に指導をし、終始なごやかな雰囲気にも包まれ、参加者それぞれが学びを得る場となりました。



指導を受けながら四ツ矢に挑戦

(奈良支部 井上 ゆみ子)

冬季中学強化練習会

各校の代表として 真剣に取り組む

12月2日、9日、16日、1月6日の4日間、白檀中学校の弓道場および橿原公苑弓道場において冬季中学強化練習会を行いました。

各中学校から4名の選手を選出し、指導部の吉本先生をはじめ、指導部の先生方、強化部の先生方に体配、射技指導など様々な指導をしていただきました。中学生も普段の練習とは一味違う雰囲気を楽しむことができたようで、先生方の指導に対しても一生懸命に応えようとしていました。今回、参加した生徒たちは各校の代表として参加し、他の部員たちにしっかりと伝達し、審査に向けて自信をもって練習に取り組んでいます。また、各一人ひとりの習熟度を把握された指導のおかげで、中体連弓道のレベルは、精神面でも向上していると実感しています。今後も継続的なご指導をお願いいたします。

(中体連 中前 芳一)

第10回近畿中学生弓道錬成大会

男子個人で村田晃啓(橿原中)が優勝、3位中島啓秀(橿原中)、女子団体で大成中が2位、八木中が3位入賞

1月28日、大阪城弓道場で第10回近畿中学生弓道錬成大会が開催されました。近畿地区の20団体の中学生167名の参加がありました。

5中以上で決勝に残った生徒は男子9名、女子7名、計16名でした。団体戦は各自四ツ矢2回8射、総的中数で順位を決定。個人戦は団体戦の各個人の成績を予選の成績とし、5中以上の中した者が決勝進出とした。奈良県で入賞したのは以下の通りです。

男子個人

- 1位 村田 晃啓 (檀原中)
- 3位 中島 啓秀 (檀原中)



男子個人 左から
優勝 村田選手
3位 中島選手

女子団体

- 2位 大成中A (矢田有希乃、松本結月 久田妃莉)
- 3位 八木中A (西村虹花 東中彩 西野真央)



女子団体2位の大成中学校



女子団体3位の八木中学校
(中体連 中前 芳一)

令和5年度県高等学校新人大会兼学年別弓道大会 西部地区、東部地区に分かれて開催

西部 2月3日(土) 檀原公苑弓道場

1年男子団体

- 1位 五條A (竹村 響、近藤 洋介、森井 爽斗)
- 2位 高田商業A (吉村 琉生、植木 愛翔、岡田 晴登)
- 3位 国際A (杵本 大知、辰巳 亮太、小西 朝陽)

1年女子団体

- 1位 檀原C (中村 千羽、戸田 美咲、山本 晃嘉)
- 2位 檀原B (大井 愛海、森 すばる、北川 佳苗)
- 3位 高田商業A (小松 美桜、和田 莓果、森 綺羅羽)



1年団体(左から1位)

2年男子団体

- 1位 五條A (伊東 響、溝渕 遥大、遠 大輔)
- 2位 檀原C (山本 雅翔、井藤 光佑、米川 蓮)
- 3位 王寺工業A (早川 裕也、平本 東早、高柴 智広)

2年女子団体

- 1位 檀原C (忍 咲良、植田 真衣、久世 佑奈)
- 2位 国際A (松田 百花、西本 真奈美、堀田 百花)
- 3位 高田商業A (池下 琴音、南浦 未有、米田 理乃)



2年団体(左から1位)

3年男子団体

- 1位 檀原A (谷口 光希、吉田 一成)
- 2位 五條A (田井中 琉斗、北川 羽琉、田中 陽士)
- 3位 国際A (阿佐 浩和、森口 圭太)

3年女子団体

- 1位 法隆寺国際(野村 美優、寺嶋 来望、住吉 依香)



3年団体(前列1位後列左から2位3位)

1年男子個人

- 1位 竹村 響 (五條)
- 2位 片岡 大翔(県大附属)
- 3位 近藤 洋介(五條)



1年個人(左から1位)

1年女子個人

- 1位 永田 穂夏(奈良北)
- 2位 森 綺羅羽(高田商業)
- 3位 山本 晃嘉(檀原)

2年男子個人

- 1位 遠 大輔 (五條)
- 2位 成瀬 暁悠(奈良北)
- 3位 中村 熊児(国際)



2年個人(左から1位)

2年女子個人

- 1位 米田 理乃(高田商業)
- 2位 勝村 莉子(五條)
- 3位 宮崎 真生(県大附属)

3年男子個人

- 1位 山崎 大惺 (高田商業)
- 2位 田井中 琉斗(五條)
- 3位 谷口 光希 (榎原)



3年個人(左から1位)

3年女子個人

- 1位 住吉 依香(法隆寺国際)
- 2位 吉田 望愛(五條)
- 3位 寺嶋 来望(法隆寺国際)

東部 2月4日(日) 榎原公苑弓道場

1年男子団体

- 1位 桜井A(今中 悠聖、中島 拓海、豊内 陸)
- 2位 畝傍A(都築 陽信、佐々岡 隼杜、岩井 欄丸、森 陸斗)
- 3位 桜井C(井上 修助、森本 純平、山二 太希)

1年女子団体

- 1位 桜井A(岡本 ひなた、藤本 詠深、北川 心結花)
- 2位 畝傍B(西 結菜、村山 夢果、渡邊 さや、藤田 琴羽)
- 3位 奈良A(西村 好乃、宮崎 奈々、藤川 桃瑚)



1年団体(左から1位)

2年男子団体

- 1位 郡山A(安藤 僚耶、高島 歩夢、水内 成希)
- 2位 桜井A(中井 希、多田 陽真、竹田津 遼太)
- 3位 畝傍B(河合 諒大、森本 陽仁、奥田 航)

2年女子団体

- 1位 桜井A(小西 佑奈、福本 菜月、村島 明日香)
- 2位 郡山C(碓谷 美晴、橋本 結衣、福田 凜)
- 3位 畝傍F(本山 明日香、木下 結愛、松本 明音)



2年団体(左から1位)

3年男子団体

- 1位 桜井A (永山 琉人、中島 健太郎、森下 忠慶)
- 2位 奈良高専A (柏本 啓太、中塚 響、中井 響稀)
- 3位 奈良大附属A(橋本 碧、加藤 大輝、高岡 友弥、鳥井 大輝)

3年女子団体

- 1位 奈良大附属A(池田 柚那、山口 優奈、岡 紗恵子)



3年団体(前列1位 後列左から2位3位)

1年男子個人

- 1位 豊内 陸 (桜井)
- 2位 山二 太希(桜井)
- 3位 草取 隆紀(奈良)

1年女子個人

- 1位 藤田 琴羽(畝傍)
- 2位 関本 恋奈(郡山)
- 3位 志方 葵 (畝傍)



1年個人(左から1位)

2年男子個人

- 1位 竹田津 遼太(桜井)
- 2位 多田 陽真 (桜井)
- 3位 安藤 僚耶 (郡山)

2年女子個人

- 1位 小西 佑奈 (桜井)
- 2位 村島 明日香(桜井)
- 3位 菊谷 七奈子(郡山)



2年個人(左から1位)

3年男子個人

- 1位 森下 忠慶(桜井)
- 2位 中井 響稀(奈良高専)
- 3位 永山 琉人(桜井)

3年女子個人

- 1位 岡 紗恵子(奈良大附属)
- 2位 山口 優奈(奈良大附属)
- 3位 升岡 瑞葉(奈良高専)



3年個人(左から1位)

(高体連 布施 慈人)

編集後記

今月号も沢山の笑顔をお届けできました。過去から現在へと奈弓連を支え繋げてくれた方々のおかげです。未来へ、国スポへ繋げていきましょう。(編集 松澤)